

「100年の物語を持つ建築」

永山祐子

■趣旨

あたり前の事だが、建築は建てておしまいではなく、建てた瞬間から新しい物語がはじまる。最近では古い歴史ある建物がリノベーションによって生まれ変わるというプロジェクトも増えている。今までその建物が担ってきた用途、そこに流れていた物語を新しく読み替える行為である。そうやってハードである建物は様々なソフトを当てはめる事で変容していく事ができる。変化を受け入れながら長くあり続ける事ができる建築とはどういうものなのだろうか。その事に思いを馳せながら100年の物語を持つ建築を想像して欲しい。

■敷地

自由に設定

現存する建物を使用してもいい（ただし、新築部分を必ずつくる事）

■用途

公共性のある施設

ex) 図書館、美術館、集合住宅、体育館、公園 等

途中で用途が変わってもいい。

■規模、構成等

延べ床面積は1000～2000m²程度

低層でも高層でも良い。外部空間でも内部空間でも良い。

マテリアルの経年変化も重要になってくる。

周囲の環境との関係にも気を使ってほしい。

■提出物

エスキス

- ・設計した建物の100年間の年表、イメージスケッチ
- ・コンセプトスケッチ 及び 模型

中間

- ・設計した建物の100年間の年表、イメージスケッチ
- ・コンセプトスケッチ 及び 模型
- ・基本図面（平・立・断・配置図）

最終

- ・100年の物語がわかるように自由に表現（アニメーションでも良い）
- ・基本図面（平・立・断・配置図）、パース（模型写真でも良い）
- ・模型